

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

ドイツのビアガーデン文化

多くのドイツ人は夏の間、できる限り外で過ごします。特にレストランの庭など、屋外で食べるのが人気です。多くのレストランには屋外のスペースがありますが、庭やベランダ以外にも、都会では道路沿いに席が用意されます。



日本でも多くの人々が楽しむ人気のビアガーデンですが、伝統的なドイツのビアガーデンは栗の木陰で玉砂利を敷いた上にテーブルとイスが置かれています。森に入り込んだように自然がとても身近に感じます。飲み物はビール（多くの場合1リットルのジョッキ）以外にコーラなどのソフトドリンクも販売されています。レストランと違い、ウェイターがいませんので、セルフサービスになります。ポテトサラダやソーセージサラダなどの料理も注文できますが、昔から食べ物の持ち込みが可能です。なぜなら、19世紀に最初のビアガーデンが造られたとき、食べ物の販売は禁止されていたからです。

食わずにビールを飲むと楽しめないなので、お客さんたちは自分のBrotzeit（ブローツァイト＝直訳：パンの時間）と呼ばれるサンドイッチのような軽食をおつまみとして持ってきます。食べ物以外にテーブルクロスなどを持ってくる人も見かけます。知らない人と同じテーブルに座ったら、あいさつをして、必ず下の名前で自己紹介をします。そして、話をするとき、丁寧な言語は使いません。それもドイツのビアガー

デンの文化です。19世紀バイエルン王国（現バイエルン州）のミュンヘンが発祥と言われるビアガーデンは1999年5月に発行された「バイエルン・ビアガーデン条例」により、守られています。条例では「食べ物の持ち込み可能」をはじめ、「音楽演奏は22時まで」、「ラストオーダーは22時30分」そして「23時には帰宅する人々の流れも落ち着き、静かな状態になっていること」といった規制があります。そして今でも、夏にドイツにいる人々は夜遅くまで屋外のビアガーデンを楽しんでいます。



↑ビアガーデンで買えるブローツァイト：
チーズ入りのソーセージサラダ、バターとパン1枚

An guadn!
アン グアデン
召し上がれ!
(バイエルン方言で)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン